

第 47 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(平成 28 年 5 月調査)

～業況は足踏み状態～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲9.6（前回調査比3.5ポイント上昇）と4期ぶりに若干改善した。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」「人員・人手」「資金繰り」が改善となったが、一方で「営業利益」が悪化しており、**総じて業況は足踏み状態**となっている。
- **業種別**に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業が▲25.2（前回調査比0.3ポイント上昇）、製造業が0.0（前回調査比10.7ポイント上昇）、卸・小売業が▲23.0（前回調査比3.6ポイント下落）、サービス業が8.5（前回調査比5.5ポイント上昇）と、卸・小売業で悪化となったものの、建設業でほぼ横ばい、製造業とサービス業で改善となっている。
- **地域別**に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲7.8（前回調査比1.5ポイント下落）、村山北部が▲5.1（前回調査比1.6ポイント下落）、最上が▲13.6（前回調査比19.8ポイント上昇）、置賜が▲22.9（前回調査比12.2ポイント下落）、庄内田川が▲13.7（前回調査比11.0ポイント上昇）、庄内飽海が0.0（前回調査比9.5ポイント上昇）と、**村山南部と村山北部でほぼ横ばい**となり、**最上、庄内田川および庄内飽海で改善、置賜で悪化**となった。
- **先行き見通し**は「自社の業況DI値」が▲14.0（今回調査比4.4ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

【特別調査】

- **夏季ボーナス**について尋ねたところ、全業種でみると、「支給する」と回答した企業の割合は56.8%と前年（50.9%）に比べ、5.9ポイント上昇した。
- **春季以降の賃金改定動向**を尋ねたところ、賃上げを実施する企業の割合（「ベア・定昇とも実施」+「ベアのみ実施」+「定昇のみ実施」）は、全業種で43.2%と前年（46.6%）に比べ、3.4ポイント低下した。

平成 28 年 5 月

株式会社 フィデア総合研究所

目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別 D I 値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最上	10
④	置賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	夏季ボーナスについて	15
(1)	支給予定動向	15
(2)	支給予定額	17
2.	春季以降の賃金改定動向について	19
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>		20
<参考資料 II : 調査の概要>		20

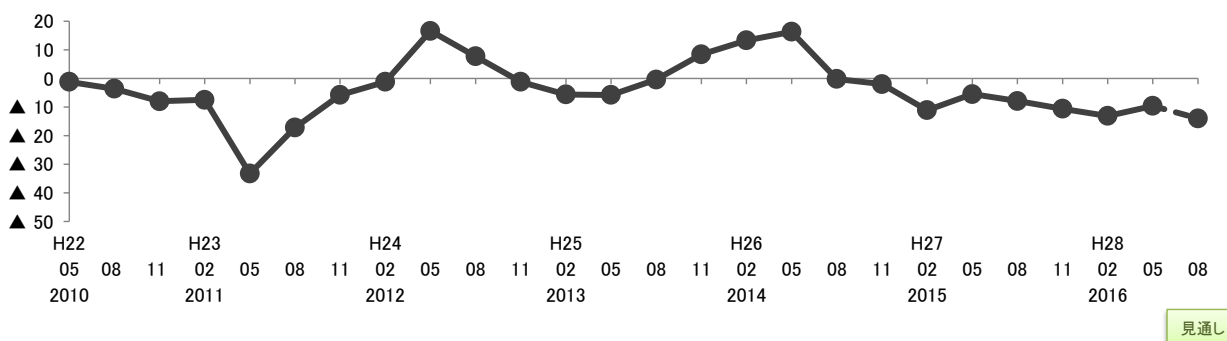
I. 県内企業の業況

1. 概況

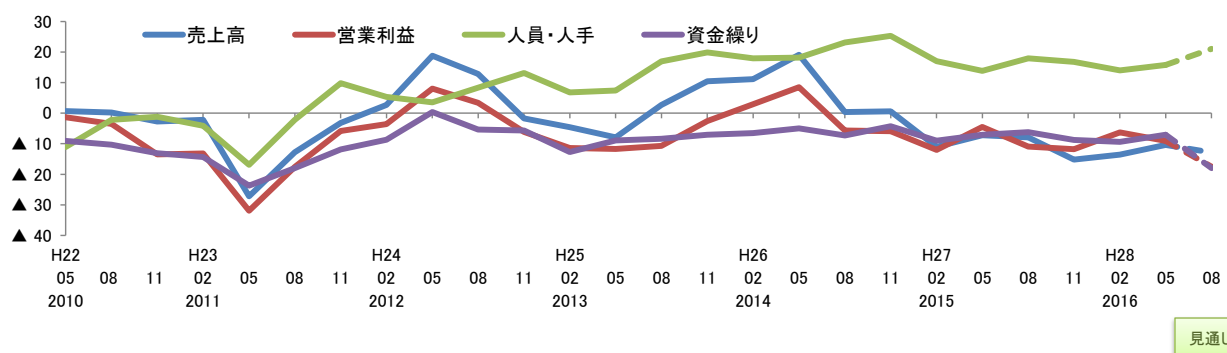
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲9.6（前回調査比 3.5 ポイント上昇）と4期ぶりに若干改善した。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」「人員・人手」「資金繰り」が改善となったが、一方で「営業利益」が悪化しており、総じて業況は足踏み状態となっている。

先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲14.0（今回調査比 4.4 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 1 全業種「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
H 27. 05 (n=442)	▲ 5.5	(5.6)	▲ 15.4	▲ 7.2	▲ 4.5	13.8	▲ 7.1
H 27. 08 (n=435)	▲ 7.9	(▲ 2.4)	▲ 15.1	▲ 7.9	▲ 10.9	17.9	▲ 6.2
H 27. 11 (n=440)	▲ 10.6	(▲ 2.7)	▲ 7.3	▲ 15.2	▲ 11.8	16.8	▲ 8.8
H 28. 02 (n=428)	▲ 13.1	(▲ 2.5)	▲ 12.1	▲ 13.6	▲ 6.3	14.0	▲ 9.4
H 28. 05 (n=451)	▲ 9.6	(3.5)	▲ 19.9	▲ 10.4	▲ 9.1	15.8	▲ 7.1
前回調査比	-	-	-	(3.2)	(▲ 2.8)	(1.8)	(2.3)
先行き見通し	▲ 14.0	-	-	▲ 12.9	▲ 17.5	21.0	▲ 18.0
今回調査比	(▲ 4.4)	-	-	(▲ 2.5)	(▲ 8.4)	(5.2)	(▲ 10.9)

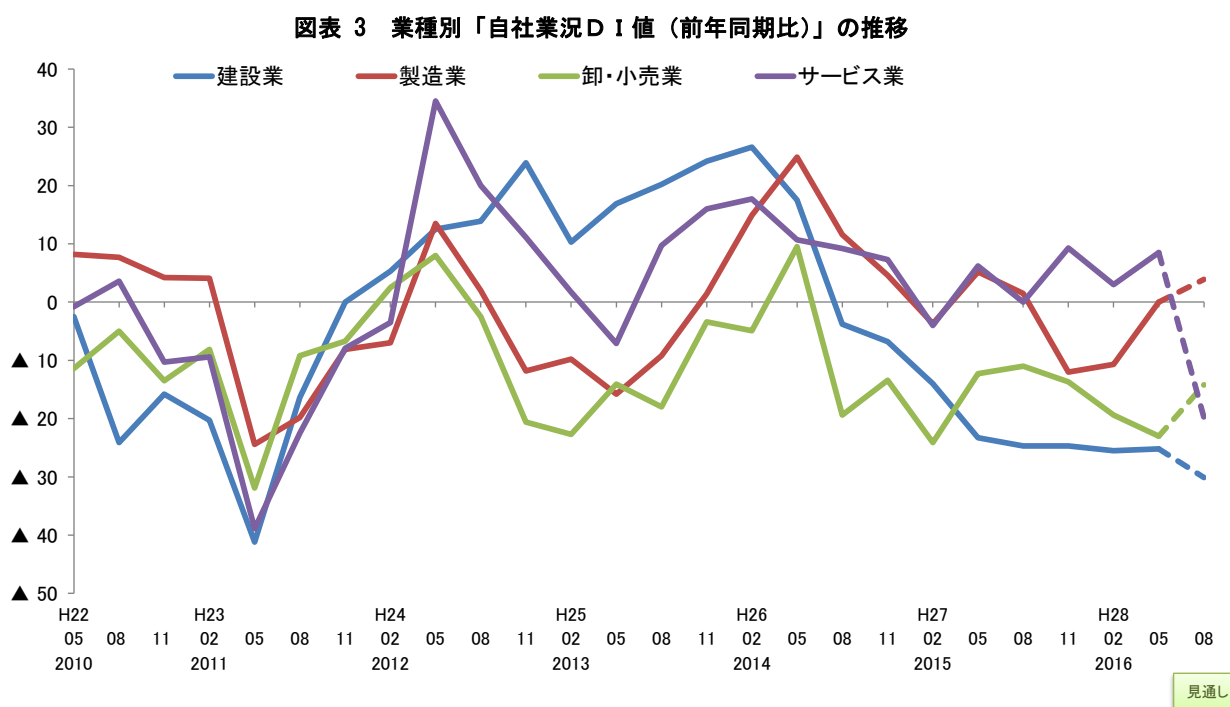
※「売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業が▲25.2（前回調査比 0.3 ポイント上昇）、製造業が 0.0（前回調査比 10.7 ポイント上昇）、卸・小売業が▲23.0（前回調査比 3.6 ポイント下落）、サービス業が 8.5（前回調査比 5.5 ポイント上昇）と、卸・小売業で悪化となったものの、建設業でほぼ横ばい、製造業とサービス業で改善となっている。

業況の先行き見通しは、製造業と卸・小売業で改善が見込まれるものの、建設業とサービス業で悪化の見込みとなっている。



前年同期比の自社業況DI値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.05 (n=442)	▲ 5.5	▲ 23.3	5.2	▲ 12.3	6.2
H 27.08 (n=435)	▲ 7.9	▲ 24.7	1.5	▲ 11.0	0.0
H 27.11 (n=440)	▲ 10.6	▲ 24.7	▲ 12.0	▲ 13.7	9.3
H 28.02 (n=428)	▲ 13.1	▲ 25.5	▲ 10.7	▲ 19.4	3.0
H 28.05 (n=451)	▲ 9.6	▲ 25.2	0.0	▲ 23.0	8.5
前回調査比	(3.5)	(0.3)	(10.7)	(▲ 3.6)	(5.5)
先行き見通し	▲ 14.0	▲ 30.1	3.9	▲ 14.2	▲ 19.8
今回調査比	(▲ 4.4)	(▲ 4.9)	(3.9)	(8.8)	(▲ 28.3)

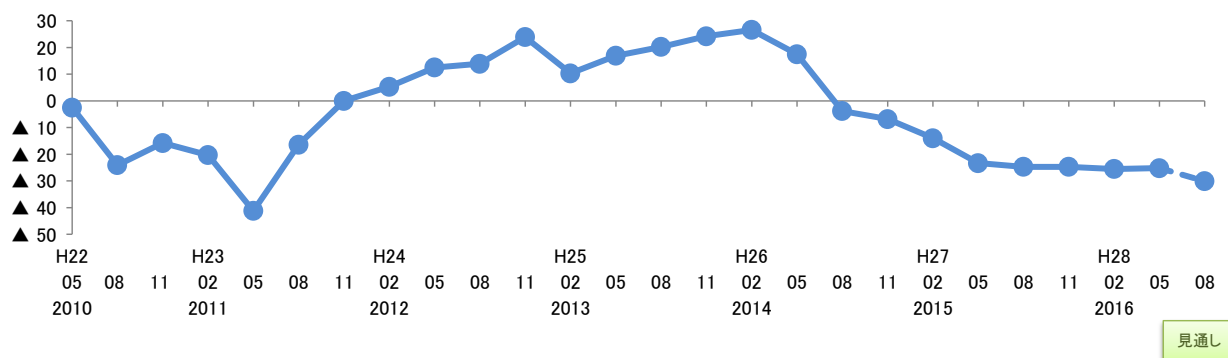
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

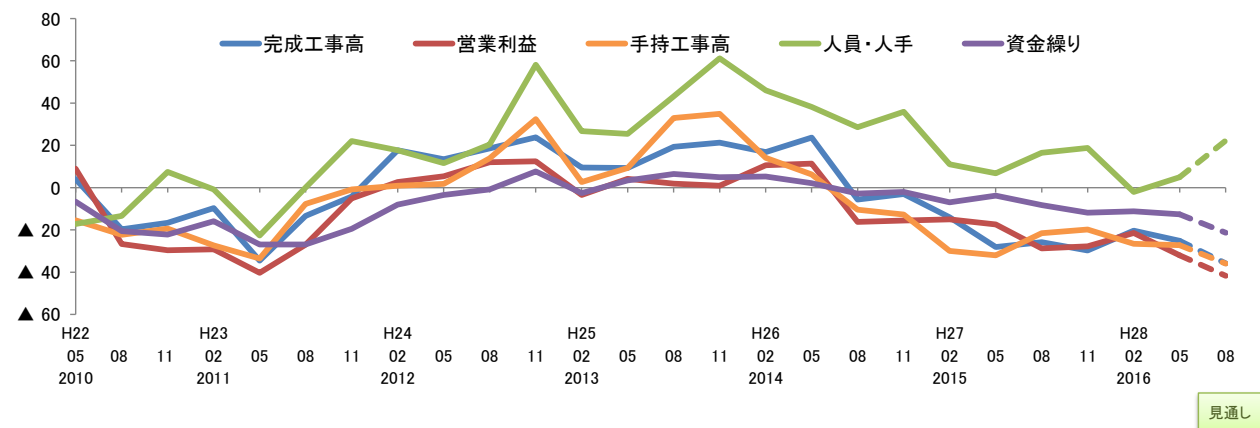
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲25.2（前回調査比 0.3 ポイント上昇）とほぼ横ばいとなった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「人員・人手」を除く 4 項目で悪化となり、中でも「営業利益」の悪化幅が大きい。公共工事の減少傾向や、それにともなう競争激化などにより、業況が低調に推移しているものと考えられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲30.1（今回調査比 4.9 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。公共工事の減少傾向のほか、消費税増税が実施されるかどうかにより、業況に影響がでると考える企業が多く、先行きを注視している状況がうかがえる。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

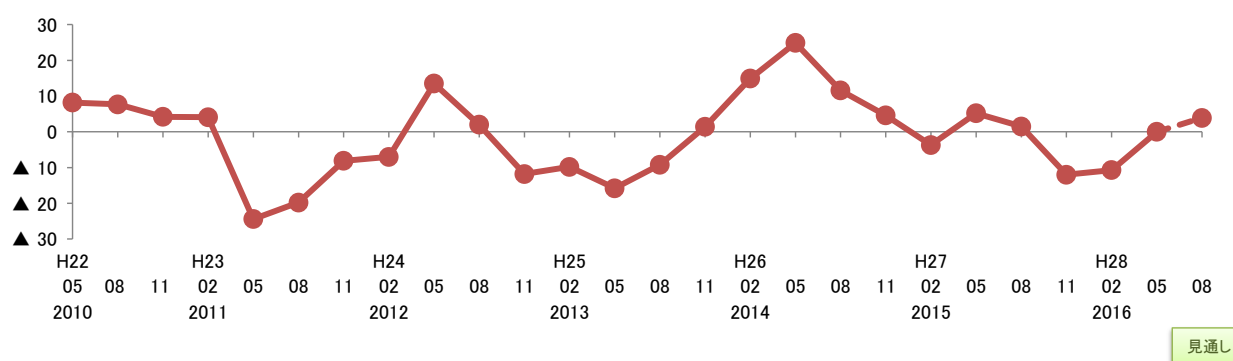
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
H 27. 05 (n=103)	▲ 23. 3	(▲ 9. 3)	▲ 27. 0	▲ 28. 1	▲ 17. 4	▲ 32. 0	6. 8	▲ 3. 8
H 27. 08 (n=97)	▲ 24. 7	(▲ 1. 4)	▲ 40. 8	▲ 25. 8	▲ 28. 8	▲ 21. 6	16. 5	▲ 8. 3
H 27. 11 (n=101)	▲ 24. 7	(0. 0)	▲ 20. 6	▲ 29. 7	▲ 27. 8	▲ 19. 8	18. 8	▲ 11. 9
H 28. 02 (n=98)	▲ 25. 5	(▲ 0. 8)	▲ 27. 7	▲ 20. 4	▲ 21. 5	▲ 26. 6	▲ 2. 0	▲ 11. 2
H 28. 05 (n=103)	▲ 25. 2	(0. 3)	▲ 37. 7	▲ 25. 2	▲ 32. 0	▲ 27. 2	4. 9	▲ 12. 6
前回調査比	-	-	-	(▲ 4. 8)	(▲ 10. 5)	(▲ 0. 6)	(6. 9)	(▲ 1. 4)
先行き見通し	▲ 30. 1	-	-	▲ 35. 9	▲ 41. 7	▲ 36. 0	22. 3	▲ 21. 4
今回調査比	(▲ 4. 9)	-	-	(▲ 10. 7)	(▲ 9. 7)	(▲ 8. 8)	(17. 4)	(▲ 8. 8)

② 製造業

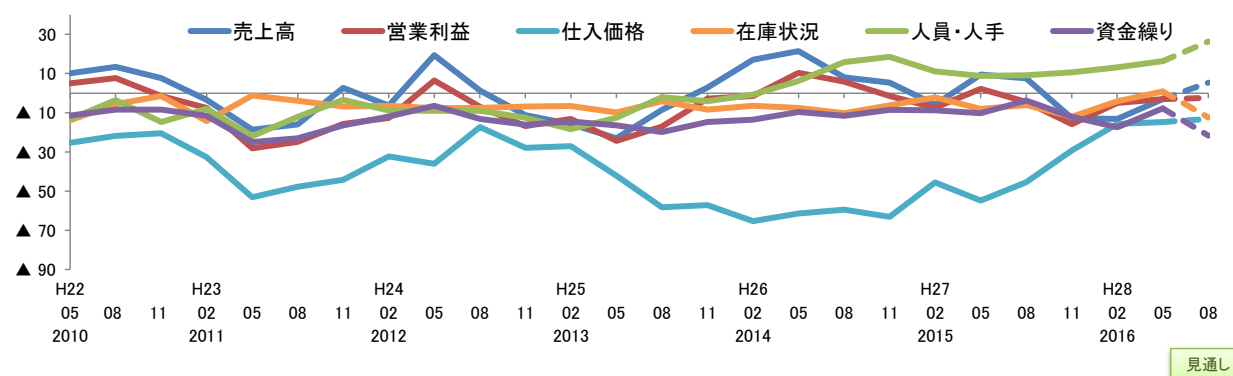
「自社の業況D I値（前年同期比）」は0.0（前回調査比10.7ポイント上昇）と大幅に改善した。「各種D I値（前年同期比）」をみると、6項目すべてで改善となった。「売上高」が4期ぶりの改善、「仕入価格」が4期連続の改善、「在庫状況」はD I値がプラスに転じている。業況改善の要因として、円高傾向により原材料価格が落ち着いたことなどにより、食品関連製造業をはじめとして業況が改善していることなどが考えられる。しかしながら、為替相場の不安定さや中国経済減速の影響などを懸念する状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I値」が3.9（今回調査比3.9ポイント上昇）とさらに改善の見込みとなっている。

図表6 製造業「自社業況D I値（前年同期比）」の推移



図表7 製造業「各種D I値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I値

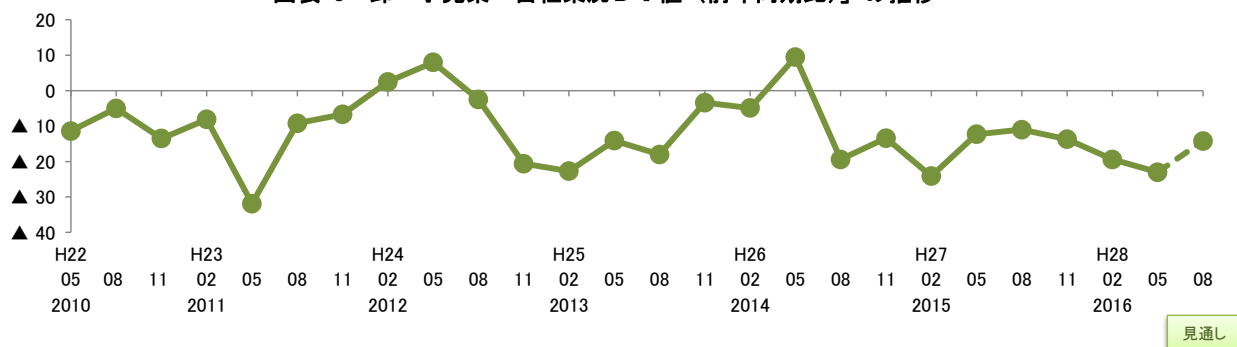
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 27.05 (n=137)	5.2	(8.9)	▲ 3.7	9.5	2.2	▲ 54.8	▲ 8.0	8.8	▲ 10.2
H 27.08 (n=132)	1.5	(▲ 3.7)	1.4	7.6	▲ 4.5	▲ 45.5	▲ 6.1	9.1	▲ 3.8
H 27.11 (n=133)	▲ 12.0	(▲ 13.5)	1.5	▲ 12.8	▲ 15.8	▲ 29.3	▲ 12.1	10.6	▲ 12.1
H 28.02 (n=121)	▲ 10.7	(1.3)	▲ 2.3	▲ 13.2	▲ 5.0	▲ 15.7	▲ 4.2	13.2	▲ 17.4
H 28.05 (n=129)	0.0	(10.7)	▲ 10.7	▲ 3.1	▲ 3.1	▲ 14.7	0.8	16.3	▲ 7.8
前回調査比	-	-	-	(10.1)	(1.9)	(1.0)	(5.0)	(3.1)	(9.6)
先行き見通し	3.9	-	-	5.4	▲ 2.4	▲ 13.1	▲ 12.4	26.3	▲ 21.7
今回調査比	(3.9)	-	-	(8.5)	(0.7)	(1.6)	(▲ 13.2)	(10.0)	(▲ 13.9)

③ 卸・小売業

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲23.0（前回調査比 3.6 ポイント下落）と 3 期連続で悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「在庫状況」と「資金繰り」で改善したものの、その他 4 項目で悪化となった。この背景として、全般的に景気の回復実感が乏しく、消費が低迷していることや、長期的な高齢化の進展および人口減少が影響している状況がうかがえる。

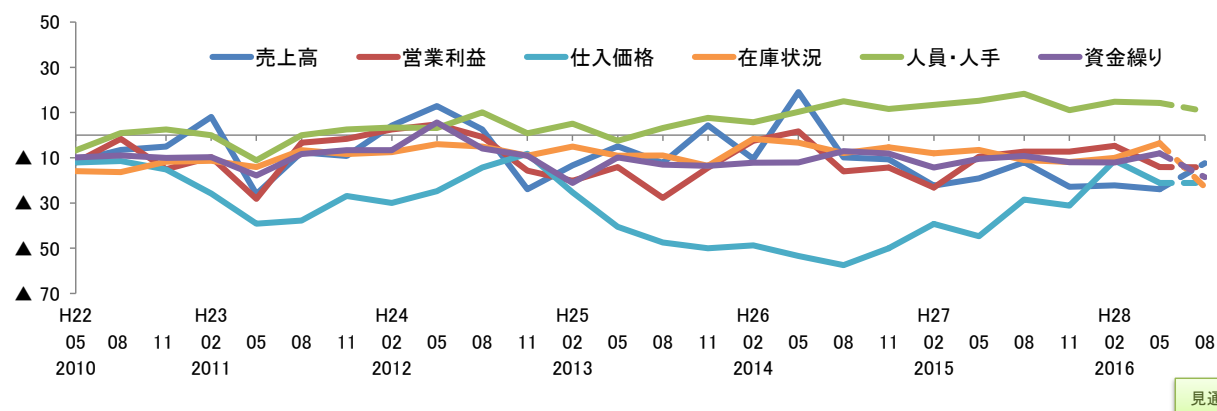
業況の先行き見通しは、▲14.2（今回調査比 8.8 ポイント上昇）と持ち直す見込みとなっている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

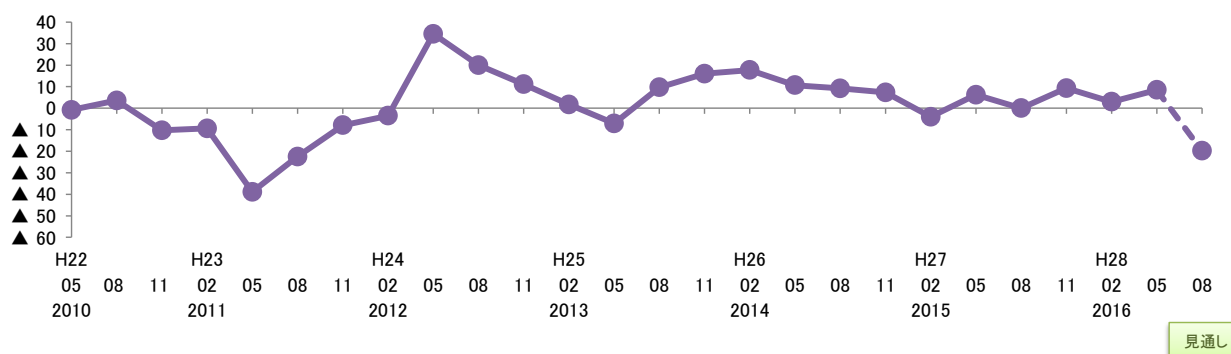
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 27.05 (n=105)	▲ 12.3	(11.8)	▲ 24.1	▲ 19.1	▲ 9.5	▲ 44.7	▲ 6.6	15.2	▲ 10.5
H 27.08 (n=109)	▲ 11.0	(1.3)	▲ 14.3	▲ 12.0	▲ 7.3	▲ 28.5	▲ 11.0	18.3	▲ 9.2
H 27.11 (n=109)	▲ 13.7	(▲ 2.7)	▲ 9.2	▲ 22.9	▲ 7.3	▲ 31.2	▲ 11.9	11.0	▲ 12.0
H 28.02 (n=108)	▲ 19.4	(▲ 5.7)	▲ 16.5	▲ 22.2	▲ 4.7	▲ 11.2	▲ 10.1	14.8	▲ 12.1
H 28.05 (n=113)	▲ 23.0	(▲ 3.6)	▲ 24.1	▲ 23.9	▲ 14.1	▲ 21.2	▲ 3.6	14.2	▲ 8.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 1.7)	(▲ 9.4)	(▲ 10.0)	(6.5)	(▲ 0.6)	(4.1)
先行き見通し	▲ 14.2	-	-	▲ 12.4	▲ 14.2	▲ 21.2	▲ 23.0	10.6	▲ 18.6
今回調査比	(8.8)	-	-	(11.5)	(▲ 0.1)	(0.0)	(▲ 19.4)	(▲ 3.6)	(▲ 10.6)

④ サービス業

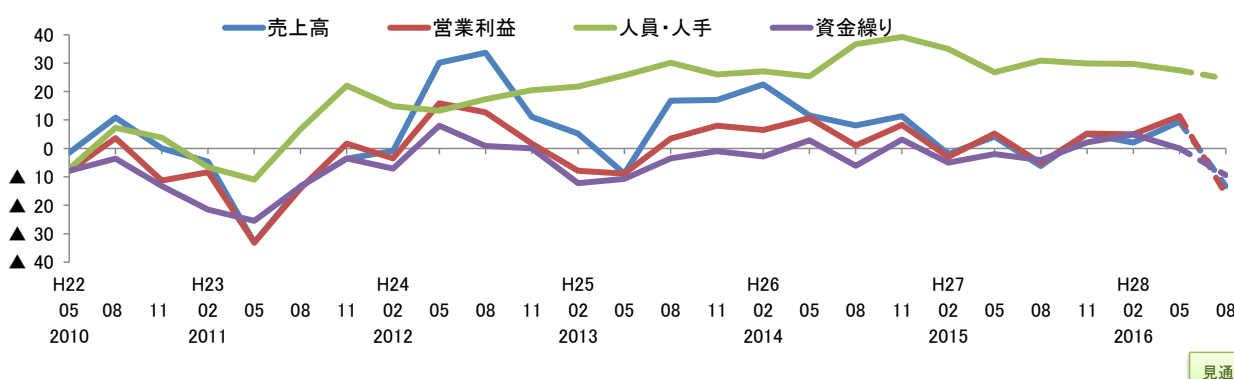
「自社の業況DI値（前年同期比）」は8.5（前回調査比5.5ポイント上昇）と、足踏み状態となっている。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」で改善となっている。旅館・ホテル業や不動産業などで業況改善の状況がみられるものの、総じて需要の低迷による停滞感がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲19.8（今回調査比28.3ポイント下落）と大幅に悪化し、DI値がマイナスに転じる見込みとなっている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H 27.05 (n=97)	6.2	(10.2)	▲ 10.0	4.1	5.2	26.8	▲ 2.0
H 27.08 (n=97)	0.0	(▲ 6.2)	▲ 12.3	▲ 6.2	▲ 5.2	30.9	▲ 4.1
H 27.11 (n=97)	9.3	(9.3)	▲ 4.1	5.1	5.2	29.9	2.1
H 28.02 (n=101)	3.0	(▲ 6.3)	▲ 4.1	2.0	5.0	29.7	4.9
H 28.05 (n=106)	8.5	(5.5)	▲ 8.9	9.4	11.3	27.4	0.0
前回調査比	-	-	-	(7.4)	(6.3)	(▲ 2.3)	(▲ 4.9)
先行き見通し	▲ 19.8	-	-	▲ 13.2	▲ 16.0	24.5	▲ 9.4
今回調査比	(▲ 28.3)	-	-	(▲ 22.6)	(▲ 27.3)	(▲ 2.9)	(▲ 9.4)

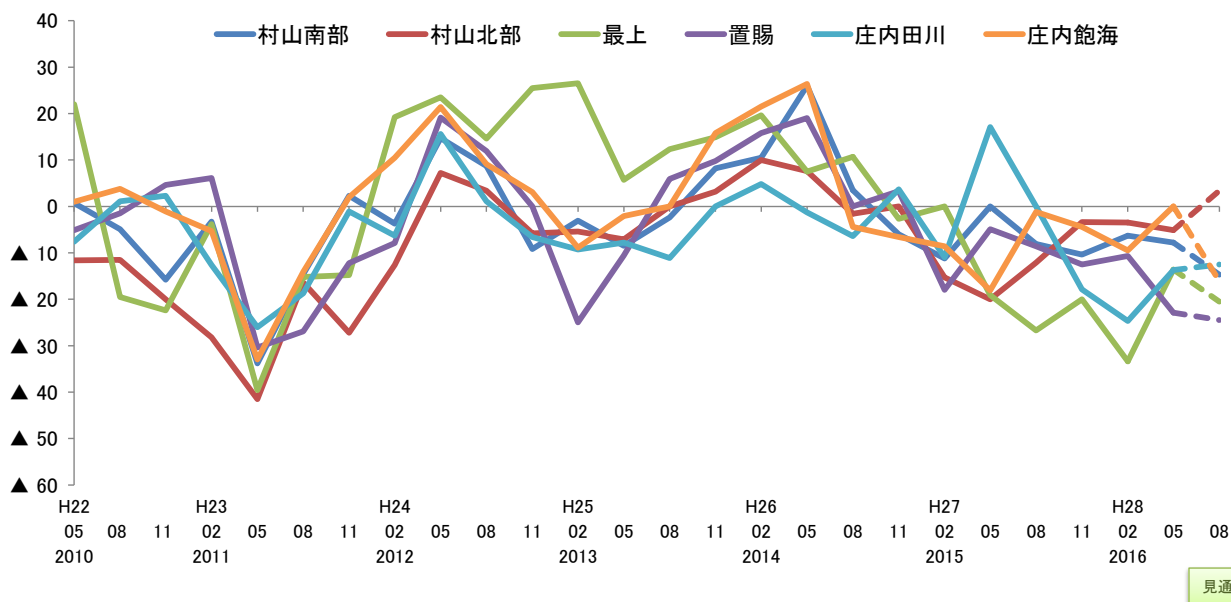
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲7.8（前回調査比1.5ポイント下落）、村山北部が▲5.1（前回調査比1.6ポイント下落）、最上が▲13.6（前回調査比19.8ポイント上昇）、置賜が▲22.9（前回調査比12.2ポイント下落）、庄内田川が▲13.7（前回調査比11.0ポイント上昇）、庄内飽海が0.0（前回調査比9.5ポイント上昇）と、村山南部と村山北部でほぼ横ばいとなり、最上、庄内田川および庄内飽海で改善、置賜で悪化となった。

業況の先行き見通しをみると、村山北部で改善、置賜と庄内田川でほぼ横ばいの見込みとなっているものの、村山南部、最上、庄内飽海で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H 27.05 (n=442)	▲ 5.5	0.0	▲ 20.0	▲ 19.1	▲ 4.9	17.1	▲ 18.1
H 27.08 (n=435)	▲ 7.9	▲ 8.1	▲ 12.1	▲ 26.7	▲ 8.6	0.0	▲ 1.2
H 27.11 (n=440)	▲ 10.6	▲ 10.4	▲ 3.4	▲ 20.0	▲ 12.5	▲ 17.9	▲ 4.4
H 28.02 (n=428)	▲ 13.1	▲ 6.3	▲ 3.5	▲ 33.4	▲ 10.7	▲ 24.7	▲ 9.5
H 28.05 (n=451)	▲ 9.6	▲ 7.8	▲ 5.1	▲ 13.6	▲ 22.9	▲ 13.7	0.0
前回調査比	(3.5)	(▲ 1.5)	(▲ 1.6)	(19.8)	(▲ 12.2)	(11.0)	(9.5)
先行き見通し	▲ 14.0	▲ 14.7	3.4	▲ 20.5	▲ 24.5	▲ 12.5	▲ 16.1
今回調査比	(▲ 4.4)	(▲ 6.9)	(8.5)	(▲ 6.9)	(▲ 1.6)	(1.2)	(▲ 16.1)

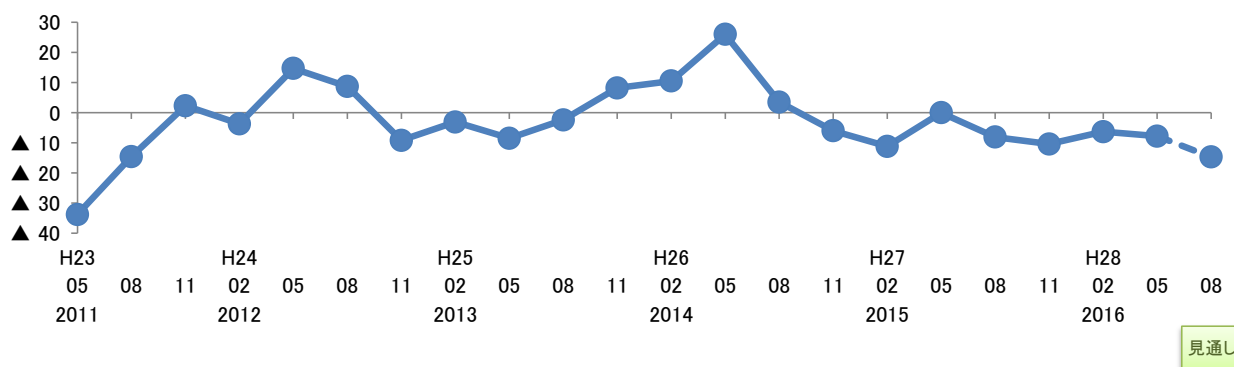
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

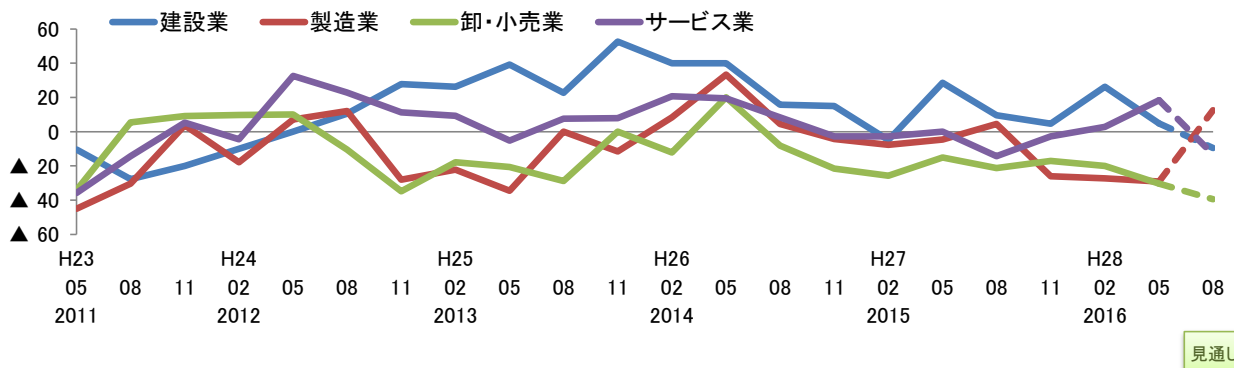
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲7.8（前回調査比 1.5 ポイント下落）と、ほぼ横ばいとなった。業種別にみると、製造業でほぼ横ばい、サービス業で改善となったものの、建設業、卸・小売業で悪化した。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲14.7（今回調査比 6.9 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

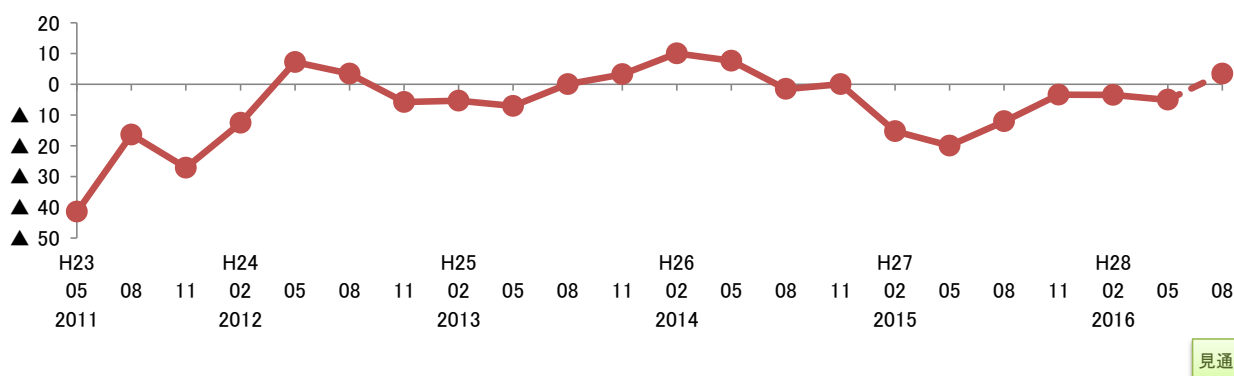
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27. 05 (n=113)	0.0	(11.2)	▲ 13.7	28.6	▲ 4.6	▲ 15.1	0.0
H 27. 08 (n=111)	▲ 8.1	(▲ 8.1)	▲ 15.9	9.5	4.5	▲ 21.2	▲ 14.3
H 27. 11 (n=116)	▲ 10.4	(▲ 2.3)	▲ 1.8	4.7	▲ 26.1	▲ 17.1	▲ 2.7
H 28. 02 (n=112)	▲ 6.3	(4.1)	▲ 15.5	26.3	▲ 27.3	▲ 20.0	2.8
H 28. 05 (n=116)	▲ 7.8	(▲ 1.5)	▲ 11.6	4.8	▲ 29.1	▲ 30.3	18.4
前回調査比	-	-	-	(▲ 21.5)	(▲ 1.8)	(▲ 10.3)	(15.6)
先行き見通し	▲ 14.7	-	-	▲ 9.5	12.5	▲ 39.4	▲ 13.2
今回調査比	(▲ 6.9)	-	-	(▲ 14.3)	(41.6)	(▲ 9.1)	(▲ 31.6)

② 村山北部

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲5.1（前回調査比 1.6 ポイント下落）とほぼ横ばいとなった。業種別にみると、製造業と卸・小売業で改善となり、製造業では D I 値がプラスに転じた。一方で、建設業とサービス業で大幅な悪化となった。

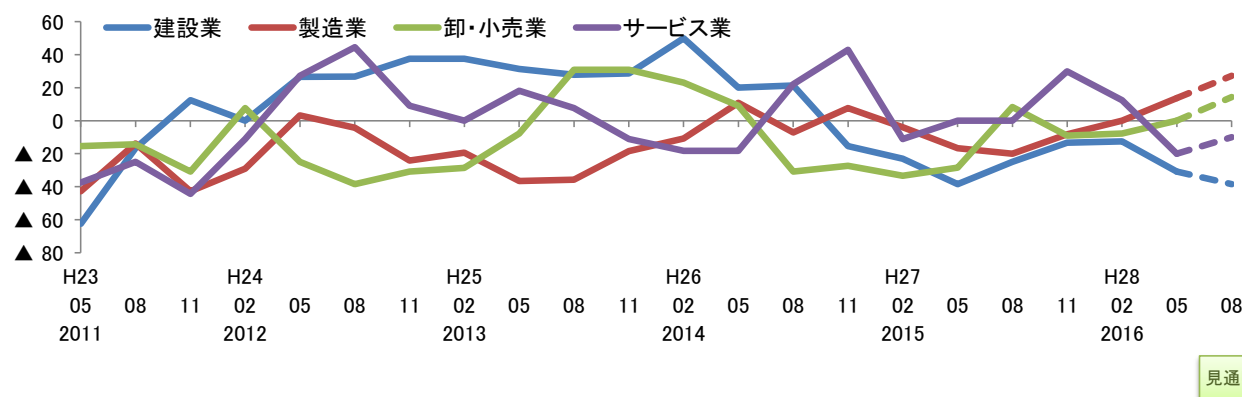
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が 3.4（今回調査比 8.5 ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 15 村山北部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 16 村山北部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

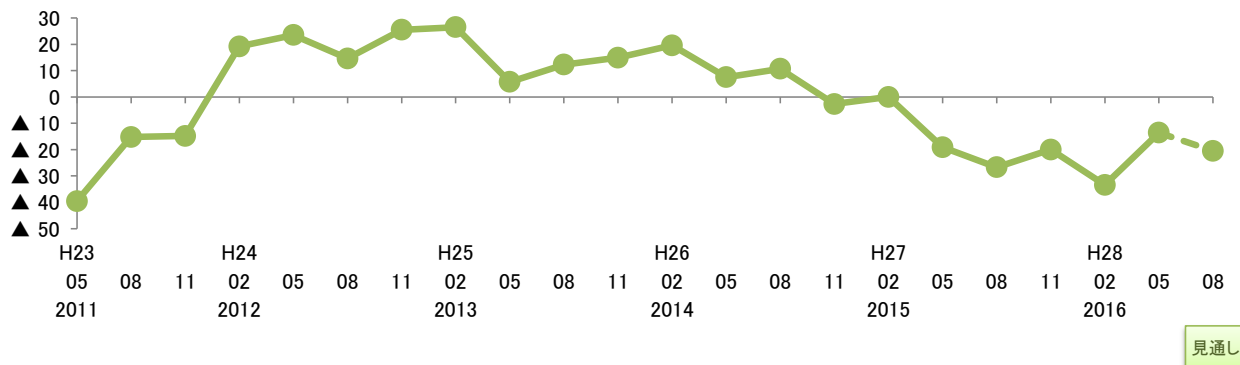
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.05 (n=55)	▲ 20.0	(▲ 4.7)	▲ 23.7	▲ 38.5	▲ 16.6	▲ 28.5	0.0
H 27.08 (n=58)	▲ 12.1	(7.9)	▲ 14.6	▲ 25.0	▲ 20.0	8.3	0.0
H 27.11 (n=60)	▲ 3.4	(8.7)	▲ 3.4	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 9.1	30.0
H 28.02 (n=57)	▲ 3.5	(▲ 0.1)	▲ 6.6	▲ 12.5	0.0	▲ 7.7	12.5
H 28.05 (n=59)	▲ 5.1	(▲ 1.6)	▲ 15.8	▲ 30.8	13.7	0.0	▲ 20.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 18.3)	(13.7)	(7.7)	(▲ 32.5)
先行き見通し	3.4	-	-	▲ 38.5	27.3	14.3	▲ 10.0
今回調査比	(8.5)	-	-	(▲ 7.7)	(13.6)	(14.3)	(10.0)

③ 最上

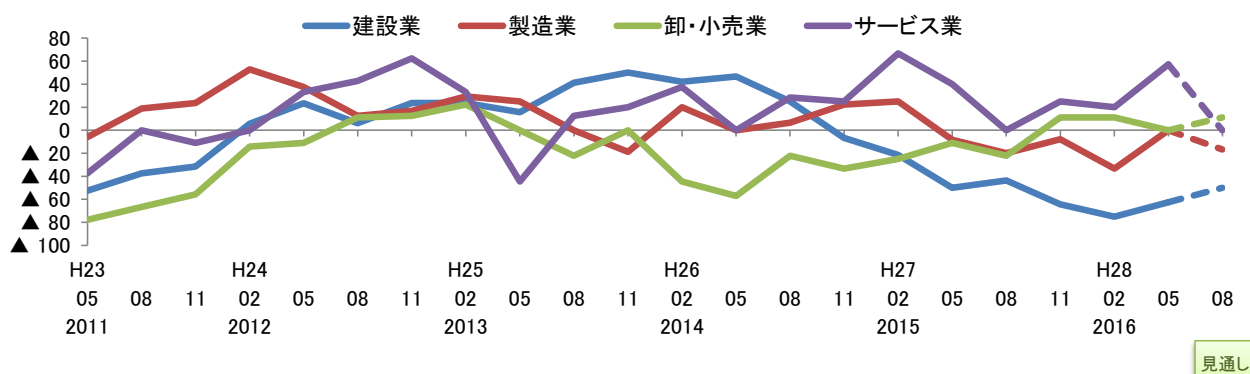
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲13.6（前回調査比 19.8 ポイント上昇）と大幅に改善となった。業種別にみると、卸・小売業が悪化となったものの、建設業、製造業、サービス業で改善した。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲20.5（今回調査比 6.9 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

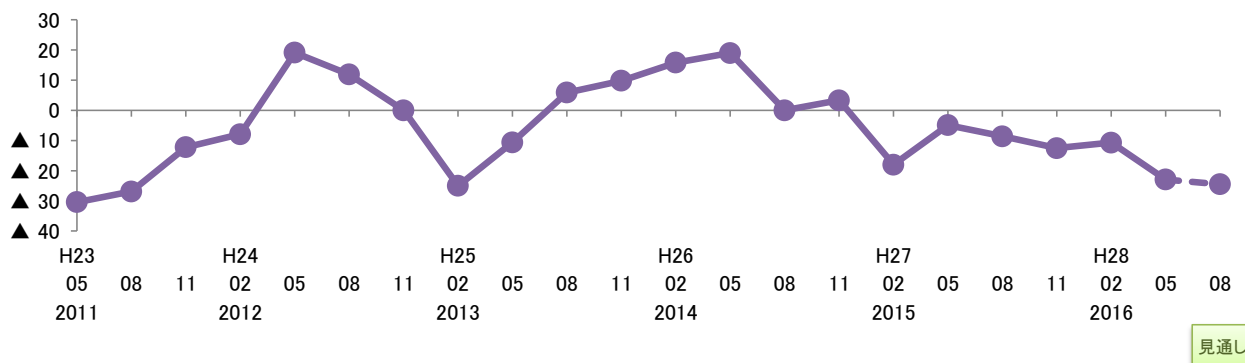
最上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.05 (n=42)	▲ 19.1	(▲ 19.1)	▲ 24.3	▲ 50.0	▲ 8.3	▲ 11.1	40.0
H 27.08 (n=45)	▲ 26.7	(▲ 7.6)	▲ 31.0	▲ 43.7	▲ 20.0	▲ 22.2	0.0
H 27.11 (n=40)	▲ 20.0	(6.7)	0.0	▲ 64.3	▲ 7.7	11.1	25.0
H 28.02 (n=42)	▲ 33.4	(▲ 13.4)	▲ 22.5	▲ 75.0	▲ 33.3	11.1	20.0
H 28.05 (n=44)	▲ 13.6	(19.8)	▲ 40.5	▲ 62.5	0.0	0.0	57.1
前回調査比	-	-	-	(12.5)	(33.3)	(▲ 11.1)	(37.1)
先行き見通し	▲ 20.5	-	-	▲ 50.0	▲ 16.6	11.1	0.0
今回調査比	(▲ 6.9)	-	-	(12.5)	(▲ 16.6)	(11.1)	(▲ 57.1)

④ 置 賜

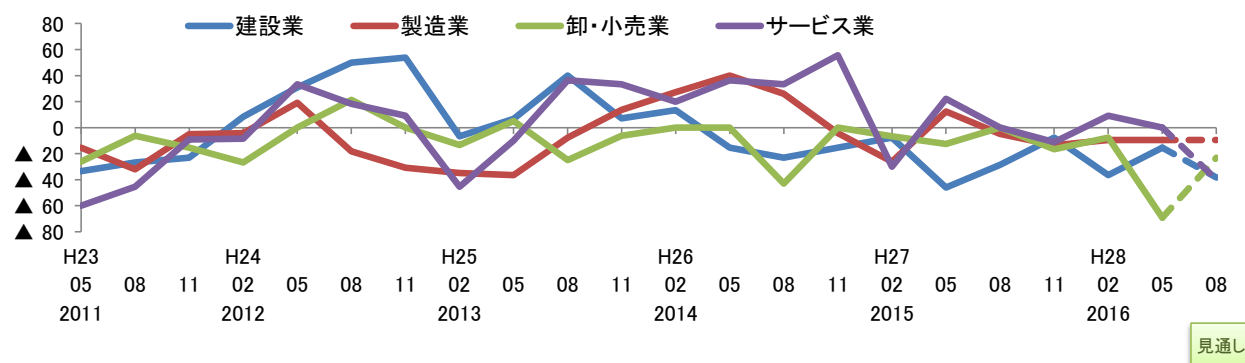
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲22.9（前回調査比 12.2 ポイント下落）と大幅に悪化した。業種別にみると、建設業で改善、製造業で横ばいとなったものの、卸・小売業とサービス業で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲24.5（今回調査比 1.6 ポイント下落）と若干悪化の見込みとなっている。

図表 19 置賜「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

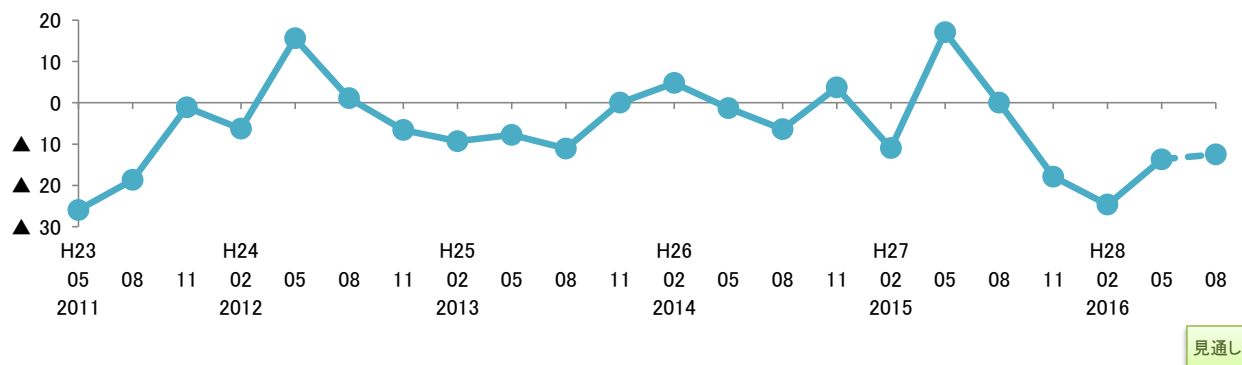
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.05 (n=62)	▲ 4.9	(13.1)	▲ 4.9	▲ 46.1	12.5	▲ 12.5	22.2
H 27.08 (n=58)	▲ 8.6	(▲ 3.7)	▲ 3.2	▲ 28.6	▲ 4.8	0.0	0.0
H 27.11 (n=56)	▲ 12.5	(▲ 3.9)	▲ 8.6	▲ 7.7	▲ 13.6	▲ 16.6	▲ 11.1
H 28.02 (n=56)	▲ 10.7	(1.8)	▲ 16.0	▲ 36.4	▲ 9.5	▲ 7.7	9.1
H 28.05 (n=57)	▲ 22.9	(▲ 12.2)	▲ 17.8	▲ 15.4	▲ 9.5	▲ 69.2	0.0
前回調査比	-	-	-	(21.0)	(0.0)	(▲ 61.5)	(▲ 9.1)
先行き見通し	▲ 24.5	-	-	▲ 38.4	▲ 9.5	▲ 23.1	▲ 40.0
今回調査比	(▲ 1.6)	-	-	(▲ 23.0)	(0.0)	(46.1)	(▲ 40.0)

⑤ 庄内田川

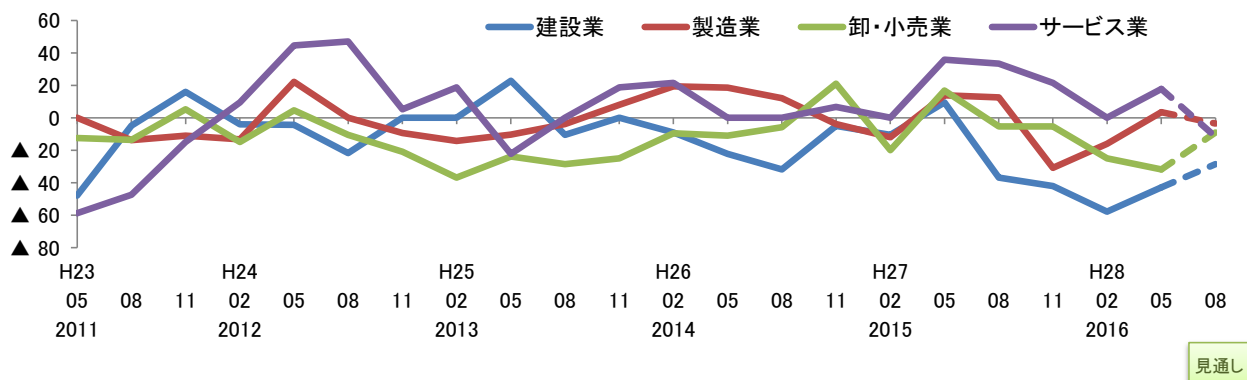
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲13.7（前回調査比 11.0 ポイント上昇）と 4 期ぶりに改善となった。業種別にみると、卸・小売業で悪化したものの、その他の 3 業種で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲12.5（今回調査比 1.2 ポイント上昇）と若干改善の見込みとなっている。

図表 21 庄内田川「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

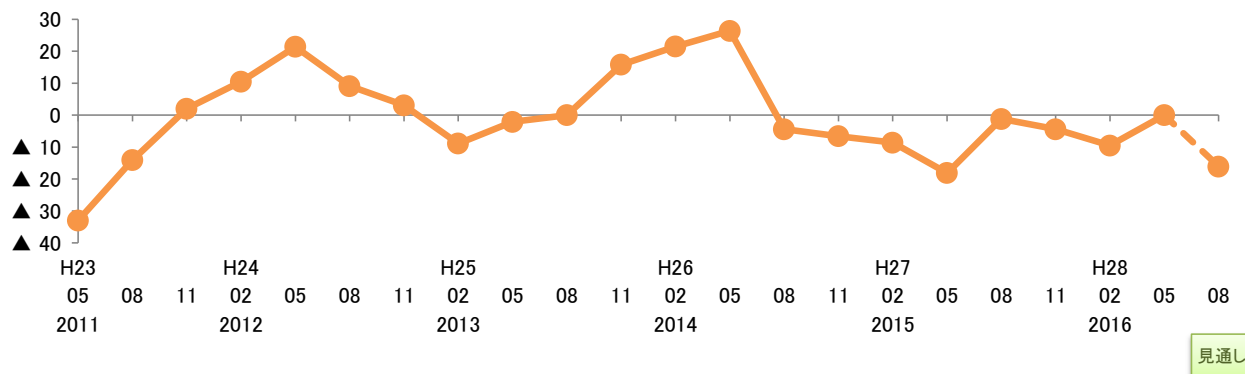
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27. 05 (n=82)	17.1	(28.1)	▲ 18.3	9.5	13.8	16.7	35.8
H 27. 08 (n=77)	0.0	(▲ 17.1)	▲ 9.8	▲ 36.8	12.5	▲ 5.3	33.4
H 27. 11 (n=78)	▲ 17.9	(▲ 17.9)	▲ 19.5	▲ 42.1	▲ 30.8	▲ 5.3	21.5
H 28. 02 (n=77)	▲ 24.7	(▲ 6.8)	▲ 6.4	▲ 57.9	▲ 16.0	▲ 25.0	0.0
H 28. 05 (n=88)	▲ 13.7	(11.0)	▲ 26.0	▲ 42.9	3.5	▲ 31.9	17.7
前回調査比	-	-	-	(15.0)	(19.5)	(▲ 6.9)	(17.7)
先行き見通し	▲ 12.5	-	-	▲ 28.6	▲ 3.6	▲ 9.1	▲ 11.7
今回調査比	(1.2)	-	-	(14.3)	(▲ 7.1)	(22.8)	(▲ 29.4)

⑥ 庄内飽海

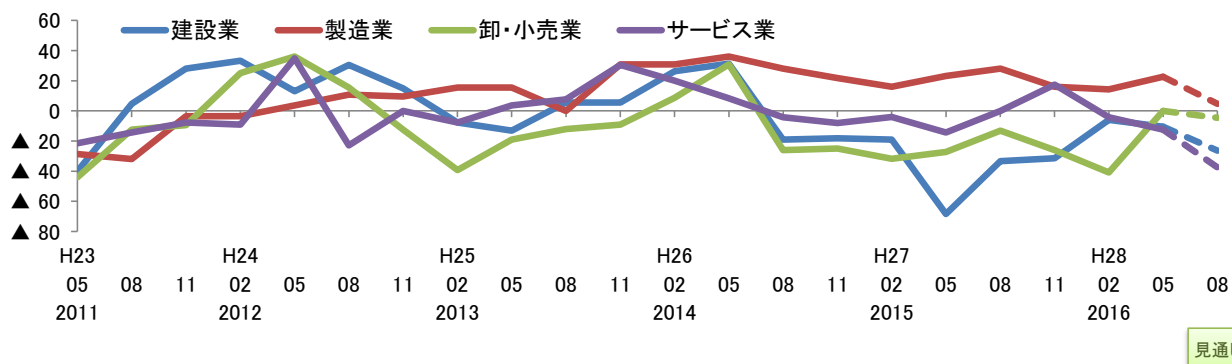
「自社の業況DI値（前年同期比）」は0.0（前回調査比9.5ポイント上昇）と3期ぶりに改善となった。業種別にみると、建設業とサービス業で悪化したものの、製造業、卸・小売業で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲16.1（今回調査比16.1ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.05 (n=88)	▲ 18.1	(▲ 9.5)	▲ 12.9	▲ 68.4	23.1	▲ 27.3	▲ 14.3
H 27.08 (n=86)	▲ 1.2	(16.9)	▲ 20.5	▲ 33.4	28.0	▲ 13.1	0.0
H 27.11 (n=90)	▲ 4.4	(▲ 3.2)	▲ 9.3	▲ 31.5	16.0	▲ 26.1	17.4
H 28.02 (n=84)	▲ 9.5	(▲ 5.1)	▲ 8.9	▲ 5.9	14.3	▲ 40.9	▲ 4.2
H 28.05 (n=87)	0.0	(9.5)	▲ 19.1	▲ 10.5	22.7	0.0	▲ 12.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 4.6)	(8.4)	(40.9)	(▲ 8.3)
先行き見通し	▲ 16.1	-	-	▲ 26.3	4.6	▲ 4.5	▲ 37.5
今回調査比	(▲ 16.1)	-	-	(▲ 15.8)	(▲ 18.1)	(▲ 4.5)	(▲ 25.0)

II. 景気天気予報図

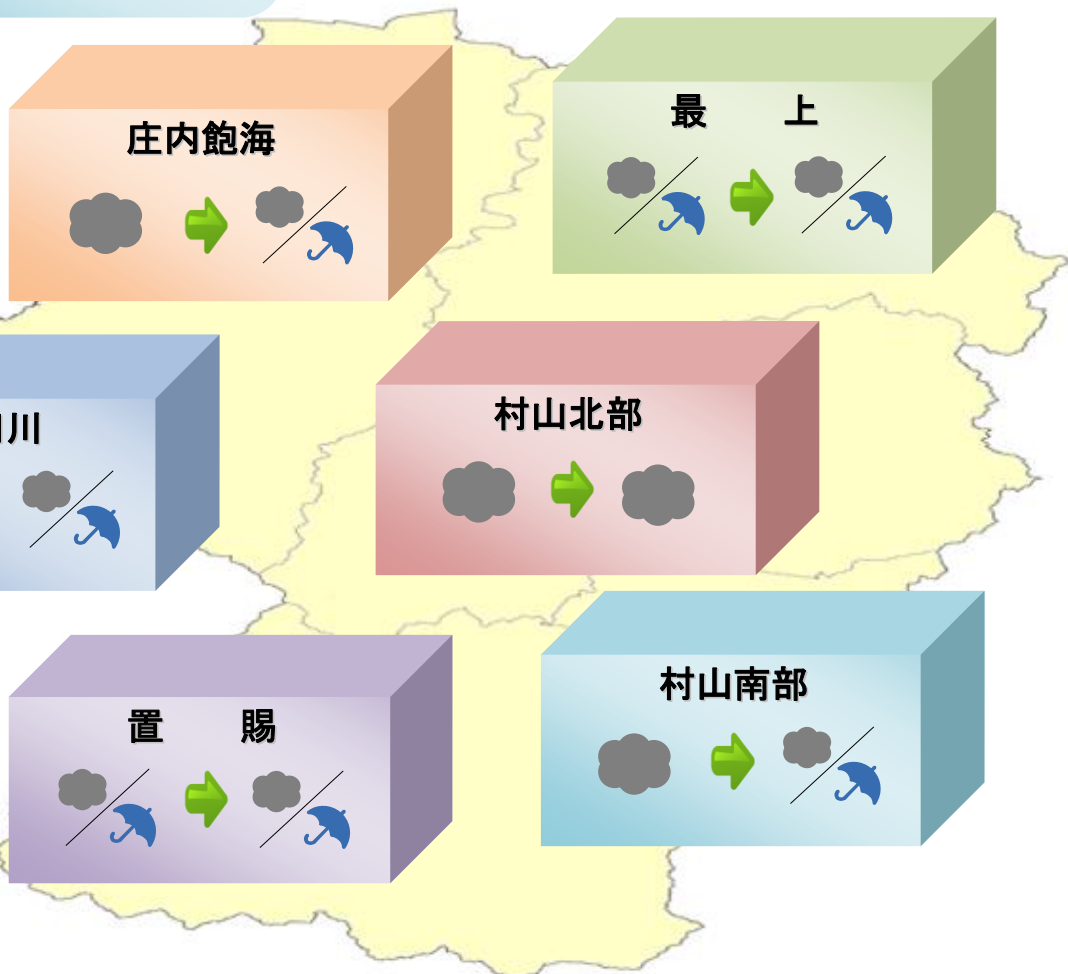
【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

山形県

今期の業況 →

来期の見通し



今期の概況

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							



	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

III. 特別調査

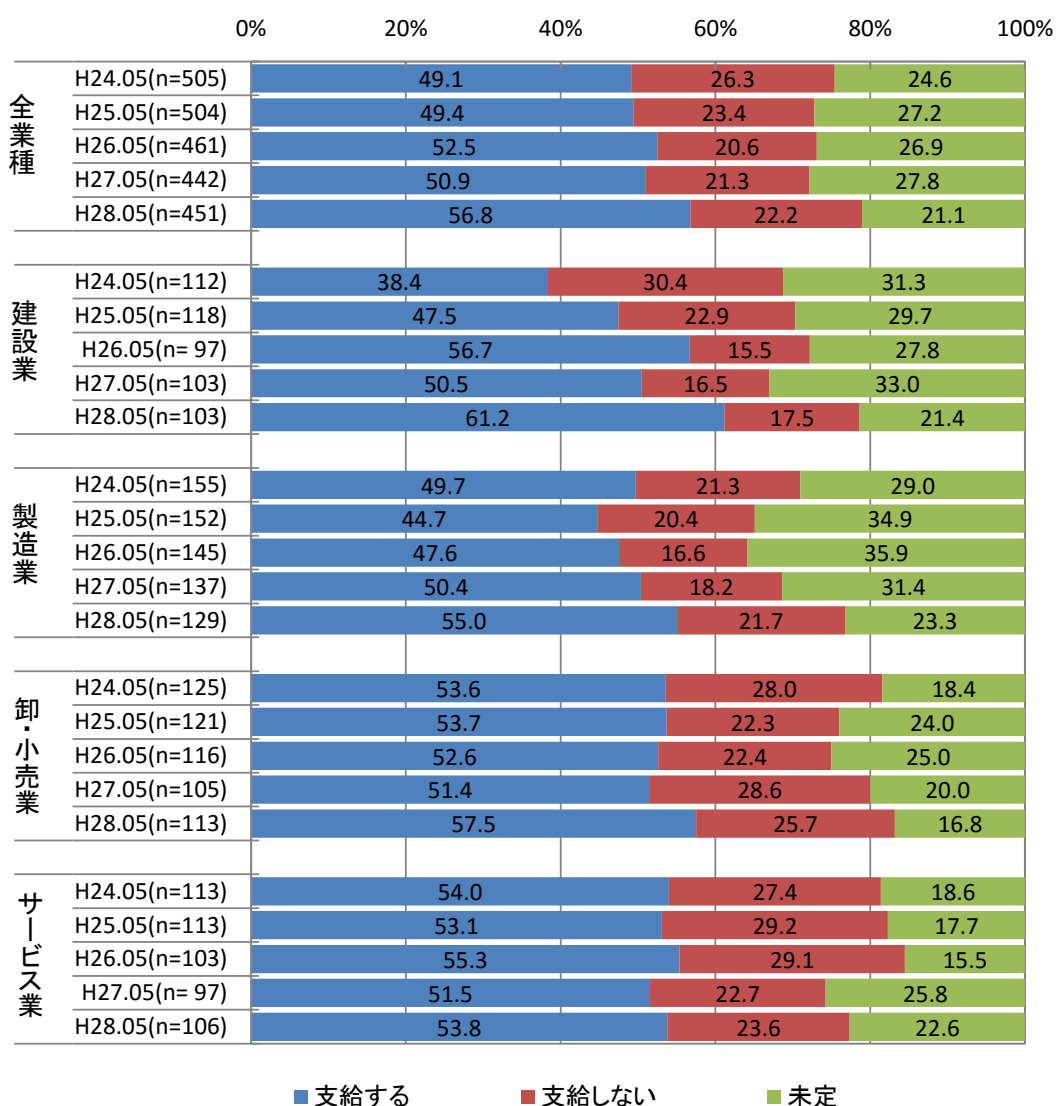
1. 夏季ボーナスについて

(1) 支給予定動向

夏季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、全業種で見ると、「支給する」と回答した企業の割合は 56.8%と前年（50.9%）に比べて 5.9 ポイント上昇した。

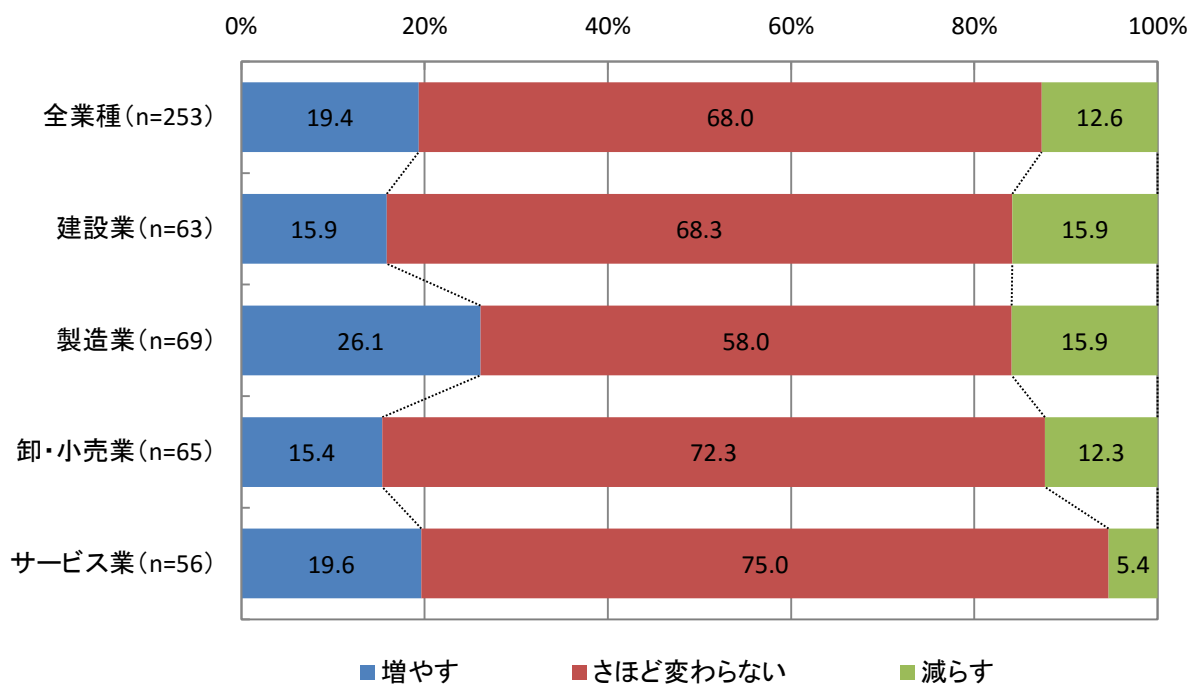
業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は、建設業が 61.2%（前年比 10.7 ポイント上昇）、製造業が 55.0%（前年比 4.7 ポイント上昇）、卸・小売業が 57.5%（前年比 6.1 ポイント上昇）、サービス業が 53.8%（前年比 2.2 ポイント上昇）と、全業種で上昇した。

図表 25 業種別 夏季ボーナス支給動向の推移



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、前年夏季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種でみると「さほど変わらない」と回答した企業が 68.0%と最も多く、「増やす」と回答した企業は 19.4%であった。業種別にみると、製造業で「増やす」と回答した企業の割合が他業種に比べて高くなっている。

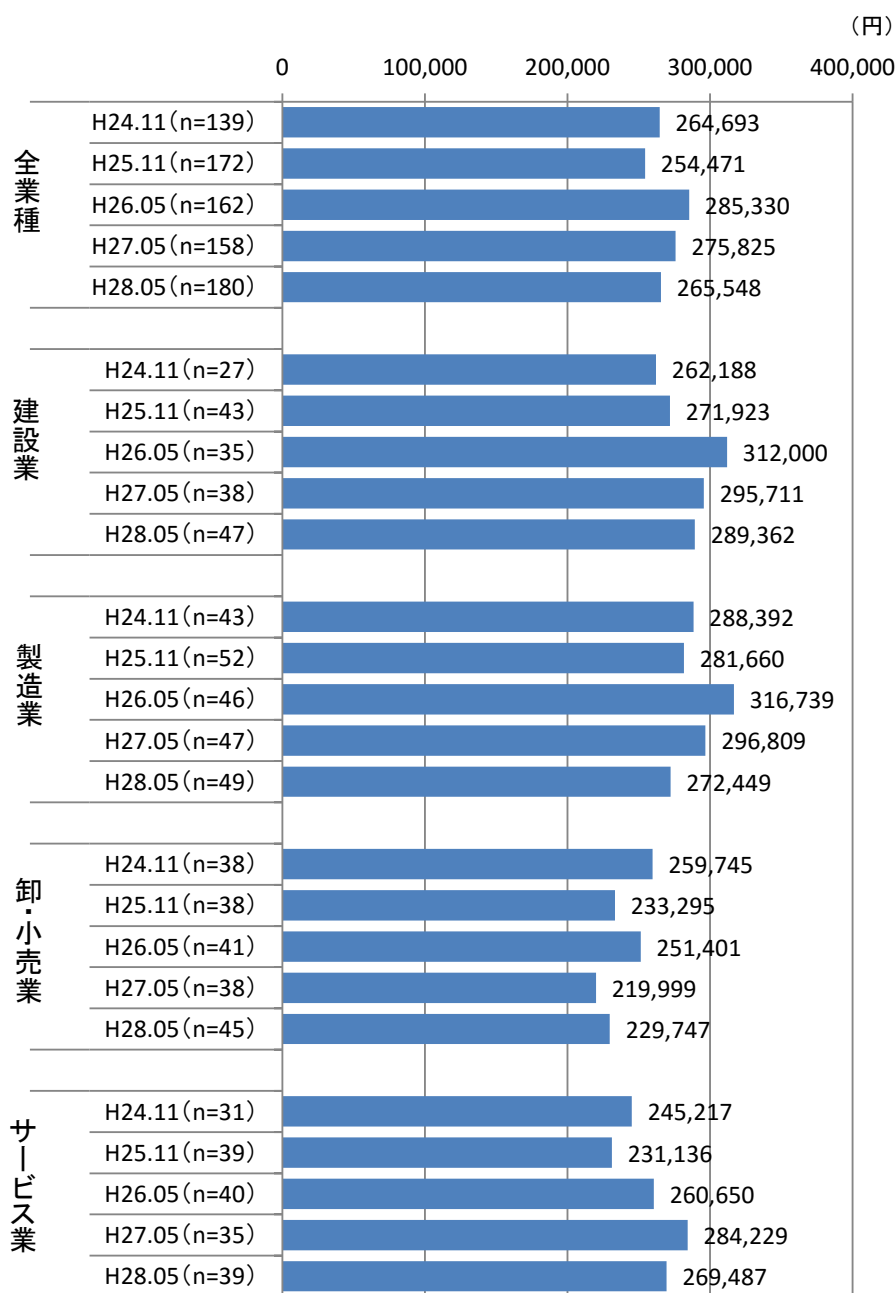
図表 26 業種別 夏季ボーナスを支給する企業の方針



(2) 支給予定額

夏季ボーナスの支給予定額については、全業種平均で 265,548 円と 2 年連続の減少となり、前年に比べると約 1.0 万円 (▲3.7%) の減少となる見込みである。業種別にみると、建設業と製造業で 2 年連続の減少となっている。前年比では卸・小売業で増加するものの、他の 3 業種で減少する見込みとなっている。平均支給予定額が最も多いのは建設業で 289,362 円となり、次いで製造業、サービス業、卸・小売業の順となっている。

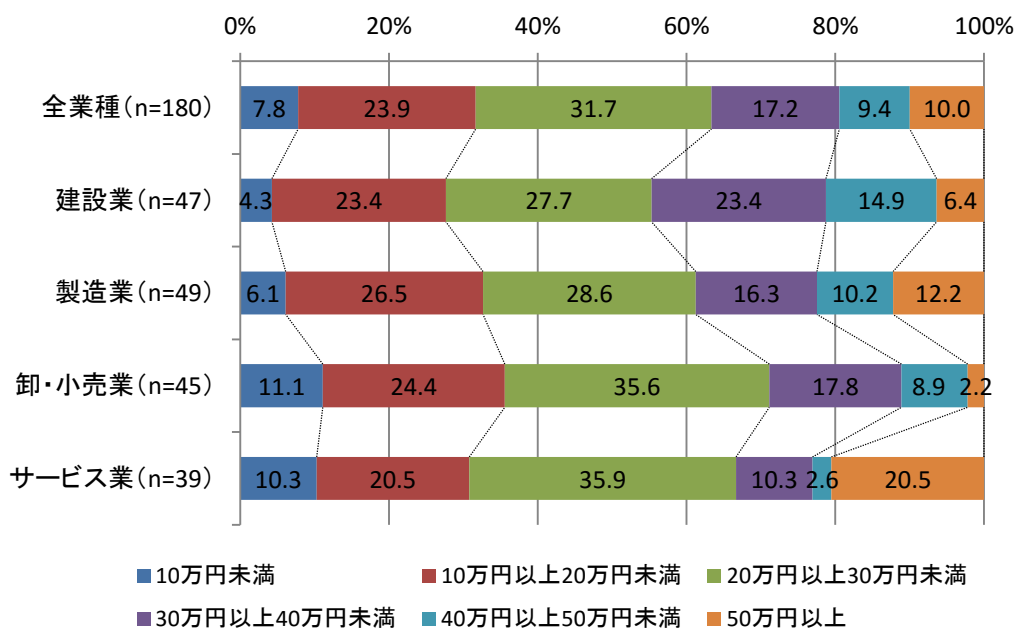
図表 27 業種別 夏季ボーナスの平均支給予定額の推移



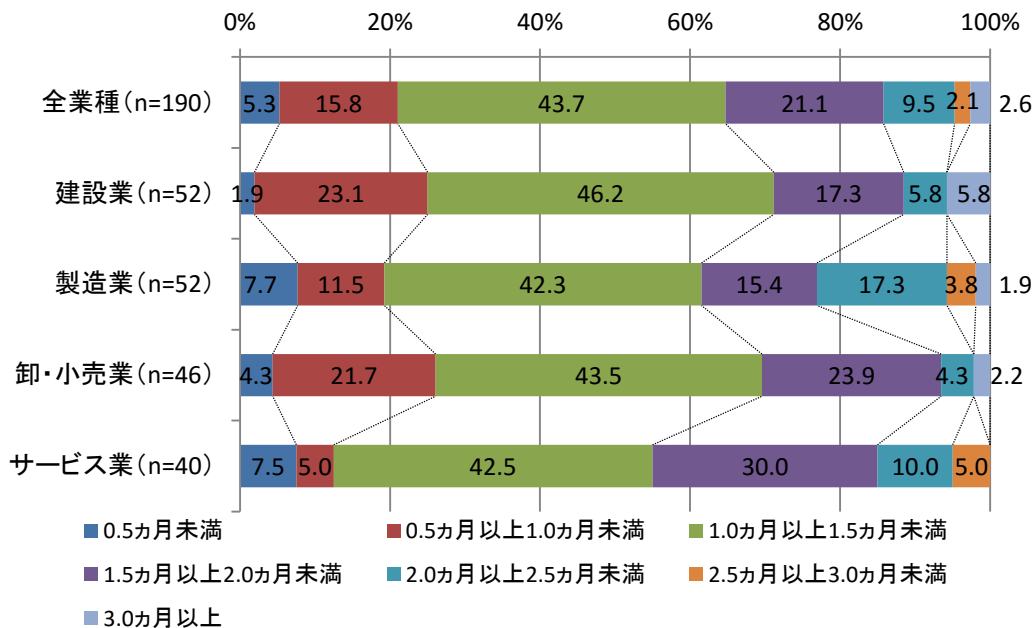
平均支給予定額は、全業種で「20万円以上30万円未満」と回答した企業の割合が最も高く、31.7%となっている。

平均支給予定月数は、全業種で「1.0か月以上1.5か月未満」と回答した企業の割合が最も高く、43.7%となっている。

図表 28 業種別 夏季ボーナスの平均支給予定額



図表 29 業種別 夏季ボーナスの平均支給予定月数

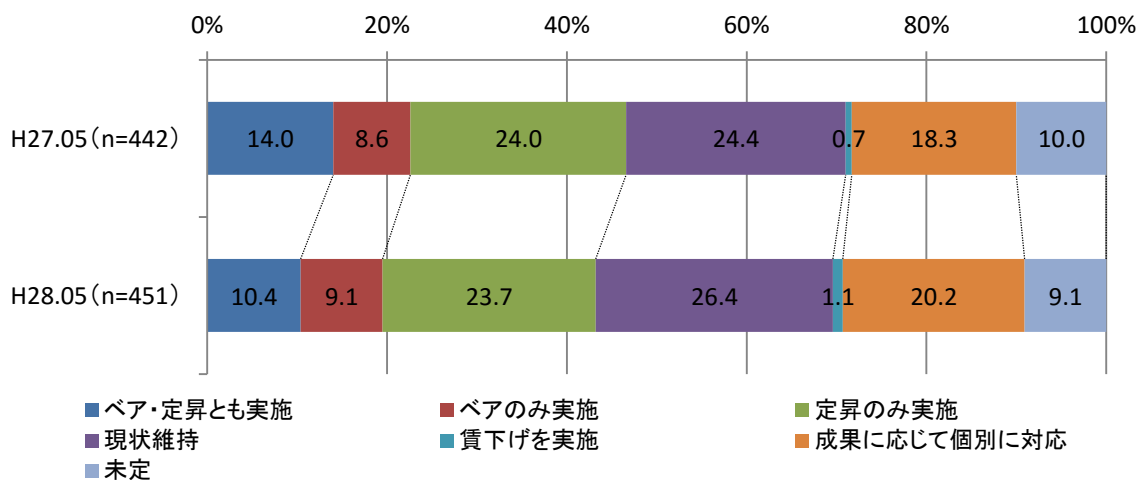


2. 春季以降の賃金改定動向について

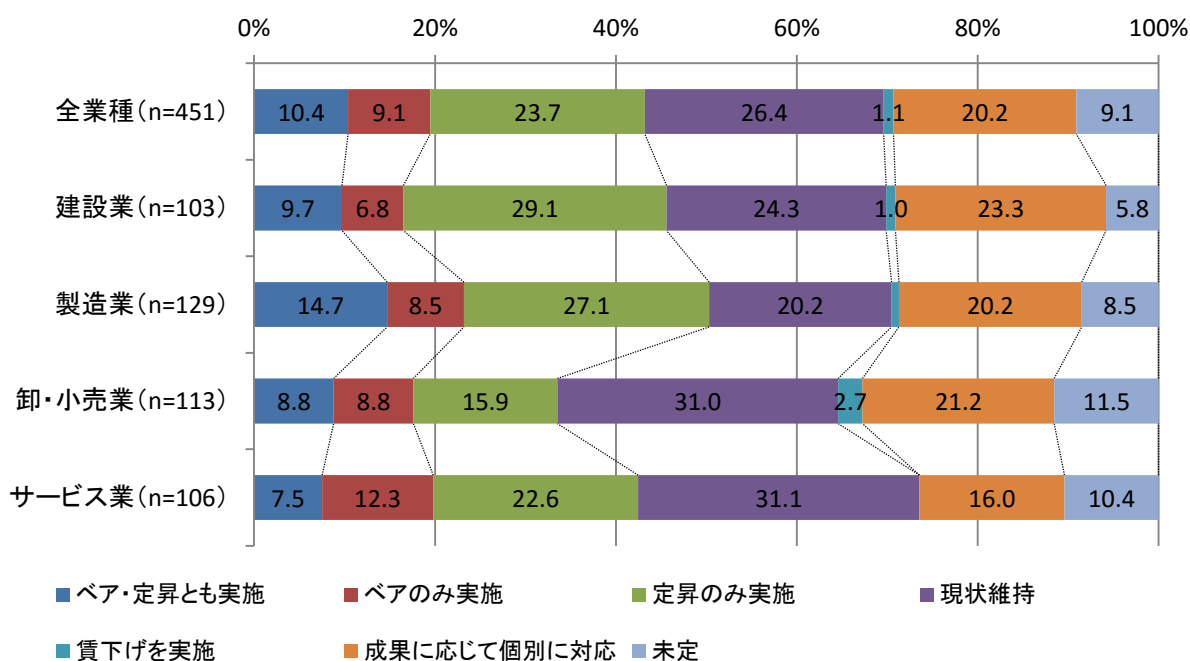
平成 28 年 4 月以降の賃金改定動向（ベースアップや定期昇給を実施する（した）か）を尋ねたところ、賃上げを実施する企業の割合（「ベア・定昇とも実施」+「ベアのみ実施」+「定昇のみ実施」）は、全業種で 43.2%と、前年（46.6%）に比べ、3.4 ポイント低下した。一方、賃下げの実施などその他の割合（「賃下げを実施」+「成果に応じて個別に対応」+「未定」）は 30.4%と前年（29.0%）に比べ、1.4 ポイント上昇した。

業種別にみると、賃上げを実施する企業の割合は製造業が 50.3%と最も高く、賃下げの実施などその他の割合は卸・小売業が 35.4%と最も高い。

図表 30 全業種 賃金改定動向の推移



図表 31 業種別 賃金改定動向



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	25	35	51	56	167
村山北部	21	37	17	18	93
最上	21	18	11	18	68
置賜	23	32	25	15	95
庄内田川	30	38	29	31	128
庄内飽海	35	36	33	38	142
合計	155	196	166	176	693

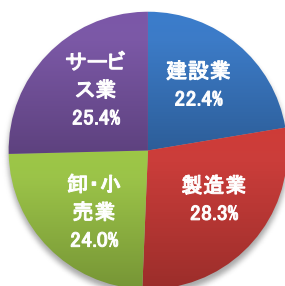
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	21	24	33	38	116
村山北部	13	22	14	10	59
最上	16	12	9	7	44
置賜	13	21	13	10	57
庄内田川	21	28	22	17	88
庄内飽海	19	22	22	24	87
合計	103	129	113	106	451

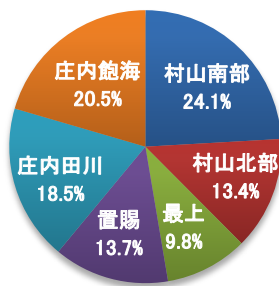
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	84.0	68.6	64.7	67.9	69.5
村山北部	61.9	59.5	82.4	55.6	63.4
最上	76.2	66.7	81.8	38.9	64.7
置賜	56.5	65.6	52.0	66.7	60.0
庄内田川	70.0	73.7	75.9	54.8	68.8
庄内飽海	54.3	61.1	66.7	63.2	61.3
合計	66.5	65.8	68.1	60.2	65.1

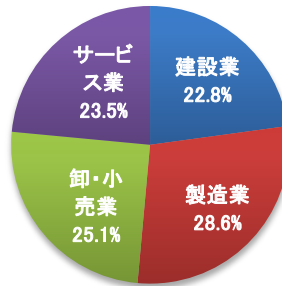
サンプル割合（業種別）



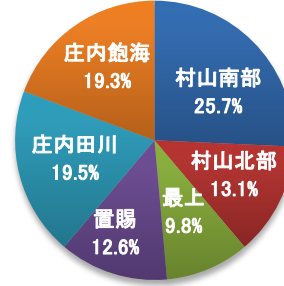
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）

● 調査期間

平成 28 年 5 月 9 日(月)～16 日(月)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちら是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<http://www.f-ric.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所

研究開発グループ 熊本 均 / 松田 美由紀

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp URL : <http://www.f-ric.co.jp/>